

デジタルHD
ビデオカメラレコーダー

取扱説明書

はじめに

お買い上げいただきありがとうございます。

もっと詳しく知りたい
(ミュージックビデオレコーダーユーザーガイド)
「ミュージックビデオレコーダーユーザーガイド」はオンライン
で見るマニュアルです。
さらに詳しい使いかたを知りたいときにご覧ください。



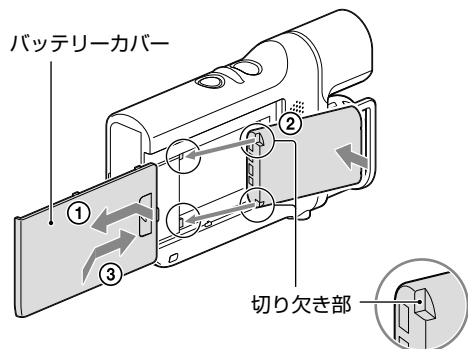
- ① サポートページにアクセスする。
http://www.sony.jp/support/manual_mvr.html
- ② サイト内で本機の型名を探して「ユーザーガイド(HTML)」を開く。
型名は本機の底面をご覧ください。

付属品を確かめる ()は個数

- ☐ 本機(1)
- ☐ USBケーブル(マイクロUSBケーブル)(1)
- ☐ リチャージャブルバッテリーパック NP-BX1 (1)
- ☐ レンズキャップ(1)
- ☐ キャップストリング(1)
- ☐ 取扱説明書(本書)(1)

バッテリーを入れる

- 1 バッテリーカバーを取り外す。
- 2 バッテリーを図の向きにして、取り付け。
- 3 バッテリーカバーを取り付ける。



HDR-MV1

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

警告 安全のために → 裏面もあわせて
お読みください。

誤った使いかたをしたときに生じる感電や傷害など人への危害、また火災などの財産への損害を未然に防止するため、次のことを必ず守ってください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、ケーブル端子にはこりがたまっていないか、ケーブル端子に傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラの動作がおかしくなったり、破損していることに気がいたら、すぐに相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

- 変な音においがしたら
煙が出たら → ① 電源を切る
② 電源を外す
③ 相談窓口につながる
裏面に相談窓口の連絡先があります。

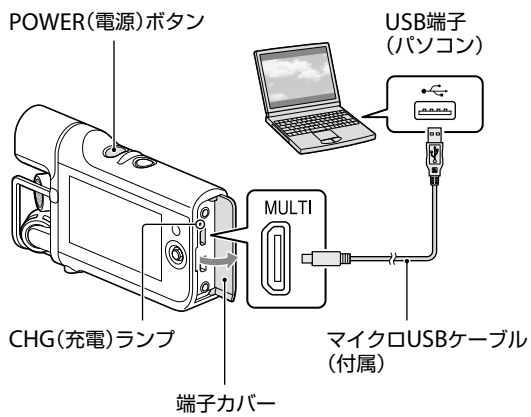
危険 万一、電池の液漏れが起きたら

- ① すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
- ② 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
- ③ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
- ④ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。



充電する

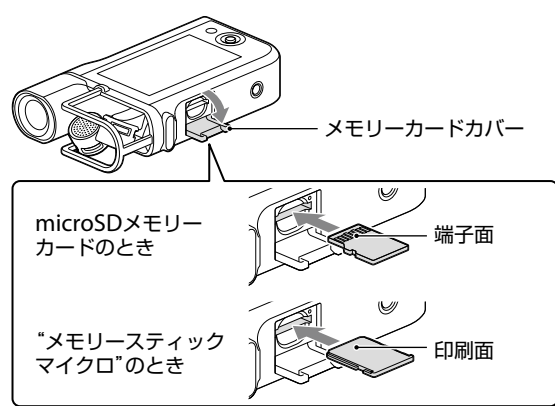
- 1 POWER(電源)ボタンを押して、本機の電源を切る。
- 2 本機の端子カバーを開く。
- 3 電源が入ったパソコンに本機をつなぐ。



- 充電にかかる時間は、パソコン接続時は約245分、ACアダプターAC-UD10(別売)接続時は約155分です。
- 満充電からのおよその動画記録可能時間は130分(連続記録時)、75分(実記録時)、動画再生可能時間は210分です(お買い上げ時の設定)。

メモリーカードを入れる

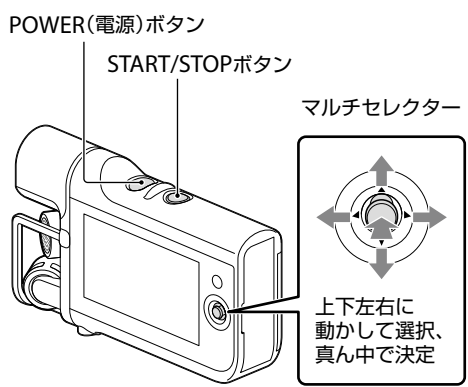
- 1 メモリーカードカバーを開く。
- 2 メモリーカードを図の向きにまっすぐ入れる。
- 3 メモリーカードカバーを閉じる。



- メモリーカードを取り出すときは、メモリーカードを軽く1回押してください。
- microSDメモリーカード、microSDHCメモリーカード、microSDXCメモリーカード、"メモリースティック マイクロ" (Mark2) が使えます。
- すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

記録する

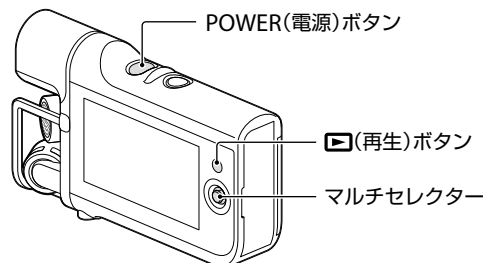
- 1 POWER(電源)ボタンを押して、本機の電源を入れる。
- 2 START/STOPボタンを押して、記録を始める。
もう一度押すと、記録が止まる。



- 初めて電源を入れたときには、日時設定画面が表示されます。マルチセクターを使って設定してください。
- 本機はMP4動画を記録できます。
- 高感度マイクを搭載しているため、手持ち記録時はノイズ音が記録される場合があります。
- 記録中は、液晶モニターが暗くなります(お買い上げ時の設定)。

再生する

- 1 POWER(電源)ボタンを押して、本機の電源を入れる。
- 2 再生(再生)ボタンを押す。
- 3 再生したいコンテンツをマルチセクターで選び、再生する。



再生時の主なボタン			
音量	前へ/次へ		
削除	早戻し/早送り		
止める	一時停止/再生		

スマートフォンに動画を転送する
(Wi-Fi)

- 1 スマートフォンにアプリをインストールする。



Android 2.3以上
(NFCワンタッチご使用の場合はAndroid 4.0以上)

Google playから、PlayMemories Mobileを検索して
インストールしてください。



iOS 4.3以上
(NFCワンタッチをご使用できません)

App Storeから、PlayMemories Mobileを検索して
インストールしてください。



- PlayMemories Mobileの詳細は、こちらをご覧ください。
(<http://www.sony.net/pmm/>)
- 既にインストール済みの場合は、最新版にアップデートしてください。
- このアプリケーションは、すべてのスマートフォン・タブレットで動作を保証するものではありません。
- アプリケーションの操作方法や、画面表示は将来のバージョンアップにより、予告なく変更することがあります。
- OSの対応バージョンは、2013年9月1日時点の情報です。

- 2 カメラで転送したい動画を選び、
スマートフォンと接続して転送する。

NFC対応のAndroidでワンタッチ接続する場合

- ① 本機でスマートフォンに転送したい動画を再生する。
- ② スマートフォンの「設定」から「その他の設定」の「NFC/おサイフケータイ設定」を選び、「NFC R/W P2P」または「Reader/Writer,P2P」にチェックを入れる。
- ③ 本機の (Nマーク) とスマートフォンの (Nマーク) または (FeliCaプラットフォームマーク) をタッチする。
 - 一部のおサイフケータイ対応のスマートフォンはNFCに対応しています。詳しくはスマートフォンの取扱説明書でご確認ください。

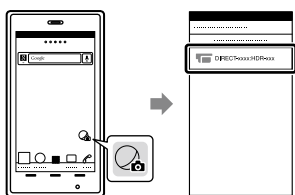
NFCを使わずに接続する場合

- ① 本機を再生モードにして、[MENU]→[編集・コピー]→[スマートフォン転送]→[カメラから選ぶ]を選ぶ。
- ② 転送する動画を選び、✓(チェックマーク)をつけて [OK]→[OK] を選ぶ。
SSIDとパスワードが表示され、本機がスマートフォンから接続できる状態になります。

- ③ スマートフォンで本機に表示されているSSIDを選び、
パスワードを入力する。

Androidのとき:

- 1 PlayMemories Mobileを起動して、本機のSSIDを選ぶ。

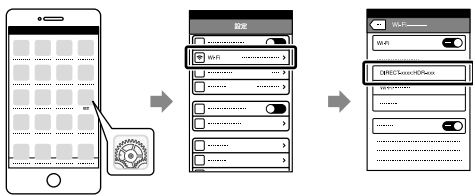


- 2 本機に表示されているパスワードを入力する(初回のみ)。

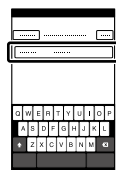


iPhoneのとき:

- 1 スマートフォンで「設定」→[Wi-Fi]の項目を選択して、
本機のSSIDを選ぶ。



- 2 本機に表示されているパスワードを入力する(初回のみ)。



- 3 SSIDが正しく選択されていることを確認する。
- 4 PlayMemories Mobileを起動する。

スマートフォンをリモコンとして使う
(Wi-Fi)

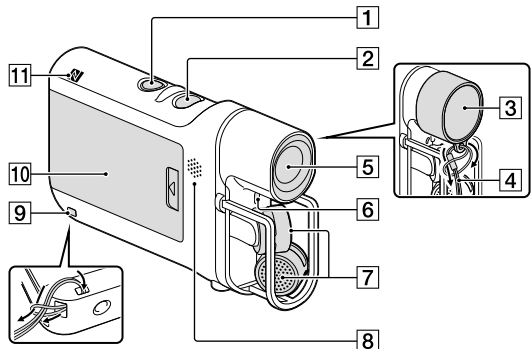
- 1 本機の記録画面で、Wi-Fiを選ぶ。

SSIDとパスワードが表示され、本機がスマートフォンから
接続できる状態になります。

- 2 スマートフォンで本機に表示されているSSIDを
選び、パスワードを入力する。
「スマートフォンに動画を転送する/NFCを使わずに接続
する場合」の手順④と同じ操作を行います。
NFCを使う場合は、本機を記録画面にして、本機の (N
マーク) とスマートフォンの (Nマーク) または
(FeliCaプラットフォームマーク) をタッチします。

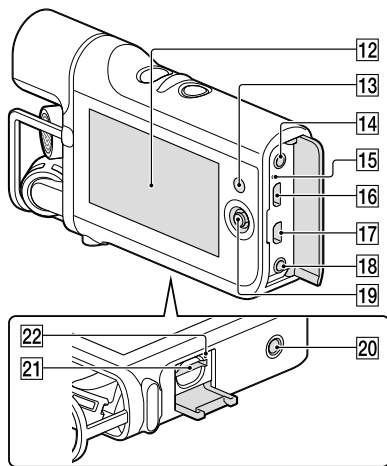
- 3 スマートフォンを操作する。

各部のなまえ



- 1 START/STOPボタン
- 2 POWER(電源)ボタン
- 3 レンズキャップ
- 4 キャップストリング
- 5 レンズ
- 6 記録ランプ
- 7 マイク
- 8 スピーカー
- 9 キャップストリング/ストラップ取り付け部
- 10 バッテリーカバー
- 11 (Nマーク)

NFC (Near Field Communication)は近距離無線通信技術の
国際標準規格です。



- 12 液晶モニター
- 13 再生(再生)ボタン
- 14 (ヘッドホン)端子
- 15 CHG(充電)ランプ
- 16 マルチ/マイクロUSB端子
この商品にはマイクロUSB規格に対応した機器を
つなぐことができます。
- 17 マイクロHDMI OUT端子
- 18 LINE IN/(マイク) (PLUG IN POWER)端子
- 19 マルチセクター
- 20 三脚穴
- 21 メモリーカードスロット
- 22 メモリーカードアクセスランプ

おすすめ機能


内蔵マイクの録音レベルを調節したい

記録画面でを選ぶ。

空調機器の音など、低音域の音を低減したい

[MENU]→[カメラ・オーディオ]→[♪オーディオ]→[ローカットフィルター]を[入]にする。

音声をモニタリングしたい

ヘッドホン端子にヘッドホンを差し込む。ボリュームを調節するには、記録画面でを選ぶ。

モニタリング音声と液晶モニターの映像を同期させたい

[MENU]→[カメラ・オーディオ]→[♪オーディオ]→[音声出力タイミング]を[リップシンク]にする。

別売のMTRや外部マイクを使いたい

本機のLINE IN端子にMTRまたはマイクを接続する。
[外部音声入力設定]画面が表示されたら、機器を選ぶ。

音声だけを記録したい

[MENU]→[記録モード]→[音声]を選ぶ。

動画の録音フォーマットを変更したい

[MENU]→[カメラ・オーディオ]→[♪オーディオ]→[録音フォーマット]で好みのフォーマットを選ぶ。

録画モードを変更したい

[MENU]→[画質・画像サイズ]→[📺録画モード]で[1080] (1920x1080 30p)または、[720] (1280x720 30p)から選ぶ。

バッテリー残量を気にせず記録したい

本機にバッテリーを入れた状態で、ACアダプターAC-UD10(別売)をつなぐ。

重要なお知らせ

使用上のご注意

- 本機をお使いになる前に、メモリーカードをフォーマットしてください。
- メモリーカードを誤った向きで無理に入れると、メモリカードやメモリーカードスロット、コンテンツデータが破損することがあります。
- 万一、カメラや記録メディアなどの不具合により記録や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- 長時間、連続して記録し続けると本機の温度が上昇し、記録が自動的に止まる場合があります。本機の温度を充分下げるために、10分以上そのまま放置してください。
- 気温の高い場所では本機の温度上昇が早くなります。
- 本機の温度が上昇すると、画質が低下する場合があります。温度が下がるのを待って記録されることをおすすめします。
- 本機の表面が熱くなる場合がありますが、故障ではありません。
- 本機で記録したコンテンツ以外は再生保証できません。
- ACアダプター(別売)はお手近なコンセントをお使いください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- [録音フォーマット]を[Linear PCM]にして録画したMP4動画は、ブルーレイディスクプレーヤーなどの一部の再生機器(ソニー製品を含む)やサービスで正しく再生できません。詳しい内容については、本機のサポートページ(<http://www.sony.jp/support/mvr/>)をご確認の上、ご利用ください。

ソフトウェアについて

- 管理編集用ソフトウェアは以下のURLからダウンロードしてください。
www.sony.net/pm/mvr/

無線(Wi-Fi)について

- 飛行機などに搭乗するとき、一時的に無線に関連する機能をすべて無効にすることができます。[飛行機モード]を[入]にしてください。

機器認定について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本製品を分解/改造すること
- 本製品に貼ってある証明ラベルをはがすこと

周波数について

本製品は2.4GHz帯で使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

この機器のネットワークモードでの使用時の注意事項
本製品の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局(免許を要する無線局)等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合などは、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止してください。
3. その他、この機器から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の実例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、相談窓口へお問い合わせください。相談窓口については、本取扱説明書をご覧ください。

 この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDSSS/OFDM変調方式を採用し、与干渉距離は20m以下です。

ワイヤレスLANに関するご注意

- 紛失や盗難などによって本機に搭載されている接続先への不正アクセスや利用などが行われ、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- ワイヤレスLAN機能は、日本国内でのみ使用できます。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。


- 「ミュージックビデオレコーダーユーザーガイド」を参照し、本機を点検する。
- バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。
- 設定リセットをする。
- “ミュージックビデオレコーダー”ホームページなどで確認する。
<http://www.sony.jp/support/mvr/>
- 相談窓口に電話で問い合わせる。

主な仕様

動画記録方式: 映像MPEG-4 AVC/H.264、音声MPEG-4 Linear PCM 2ch、MPEG-4 AAC LC 2ch
音声ファイル記録方式: Linear PCM (WAV)
電源電圧: DC 3.6V(バッテリー)、DC 5V 1500 mA(ACアダプター)
USB充電(マルク/マイクロUSB端子): DC 5 V 800 mA
消費電力: 2.1 W(お買い上げ時の設定で動画撮影時)

上記以外の仕様は、「ミュージックビデオレコーダーユーザーガイド」の「主な仕様」に記載しています。
本機やアクセサリーの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

商標について

- “Memory Stick”、“メモリースティック”、 “Memory Stick Micro”、“メモリースティック マイクロ”はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
- Mac、Mac OS、App StoreはApple Inc.の登録商標または商標です。
- AndroidおよびGoogle PlayはGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- iOSは、米国シスコの商標もしくは登録商標です。
- Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi PROTECTED SET-UP、Wi-Fi Direct、WPA、WPA2は、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。
- NマークはNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
- FeliCaプラットフォームマークは、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- その他の各社名および各商品名は各社の登録商標または商標です。なお、本文中では、™、®マークは明記していません。



安全のために

→ 表面もあわせてお読みください。

**危険**

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

**警告**

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

**注意を促す記号**

**火災**

**感電**

**禁止**

**分解禁止**

**ぬれ手禁止**

**フラグをコンセントから抜く**

**指示**

**電池について**

「安全のために」の文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

**警告**

下記の注意事項を守らないと、**火災、大けがや死亡**にいたる危害が発生することがあります。

**火災**

**感電**

**分解禁止**

**ぬれ手禁止**

**フラグをコンセントから抜く**

**指示**

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理は相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物(金属類や燃えやすい物など)を入れない
火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。USB接続をしている場合はUSB接続を抜いて、相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、記録、再生をしたり、液晶モニターを見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

記録時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、記録を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の方法で充電しない

火災やけがの原因となることがあります。

電池やストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。また、ストラップに傷がないか使用前に確認してください。

ケーブル類を傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、ケーブル類を抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

機器本体や付属品、カメラ固定用ねじ、メモリーカードは乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品やメモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

長時間、同じ持ち方で使用しない

使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態であると、赤くなった水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。以下の場合には特にご注意ください、三脚などをご利用ください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合。
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。

**注意**

**火災**

**感電**

下記の注意事項を守らないと、**けがや財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気が多い場所やほこり、油煙、湯気が多い場所では使わない
火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない
感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

充電中の製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源を外す

長期間使用しないときは、USBケーブルを本体から外したり、電池を本体から外して保管してください。火災の原因となることがあります。

レンズや液晶モニターに衝撃を与えない

レンズや液晶モニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリなどを取り外すときは、手そえる

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

ヘッドホンを使用するような場合、大音量で長時間つづけて聞かない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられたら返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

ワイヤレス機能ご使用上の注意

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離して使用する
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。


病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機内ではワイヤレス機能を使用しない


電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能の使用を中止する
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。


**危険**

電池についての安全上のご注意とお願い


漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがやけが、火災などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

**危険**


・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。
・電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。
・電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。
・電池をコインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
・電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体で濡らさない。濡れた電池を充電したり、使用したりしない。

**警告**

・電池をハンマーなどでたたいたり、踏みついたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。
・バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。
・ボタン電池は充電しないください。

**注意**

・電池を適切に切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り外しておく。

**Li-ion**
リチウムイオン電池

リチウムイオン電池はリサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部分にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については
一般社団法人JBRCホームページ
<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>
を参照してください。

保証書とアフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入と記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。このデジタルビデオカメラレコーダーは国内仕様です。海外で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスとその費用については、ご容赦ください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを「故障かな？と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。
それでも具合が悪いときは相談窓口(下記)にお問い合わせください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
修理に出される前に修理に出される前のご注意をご覧ください。

部品の保有期間について

当社はデジタルビデオカメラレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後8年間保有しています。
ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

お問い合わせ窓口のご案内

“ミュージックビデオレコーダー”の最新サポート情報
(製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど)
<http://www.sony.jp/support/mvr/>

ソフトウェアのサポート情報
<http://www.sony.co.jp/support-disoft/>
“ミュージックビデオレコーダー”ホームページ
<http://www.sony.jp/mvr/>
“ミュージックビデオレコーダー”の最新情報、撮影テクニック、アクセサリなどに関する情報を掲載しています。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご覧ください。

<http://www.sony.jp/support/>

使い方相談窓口	修理相談窓口
フリーダイヤル …………… 0120-333-020 携帯・PHS・一部のIP電話 …………… 050-3754-9577	フリーダイヤル …………… 0120-222-330 携帯・PHS・一部のIP電話 …………… 050-3754-9599 ※ 取扱説明書等の購入相談は こちらへお問い合わせください。

FAX(共通) **0120-333-389**

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に
「405」+「#」(本機や付属品)
「404」+「#」(ソフトウェア)
を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1
<http://www.sony.co.jp/>